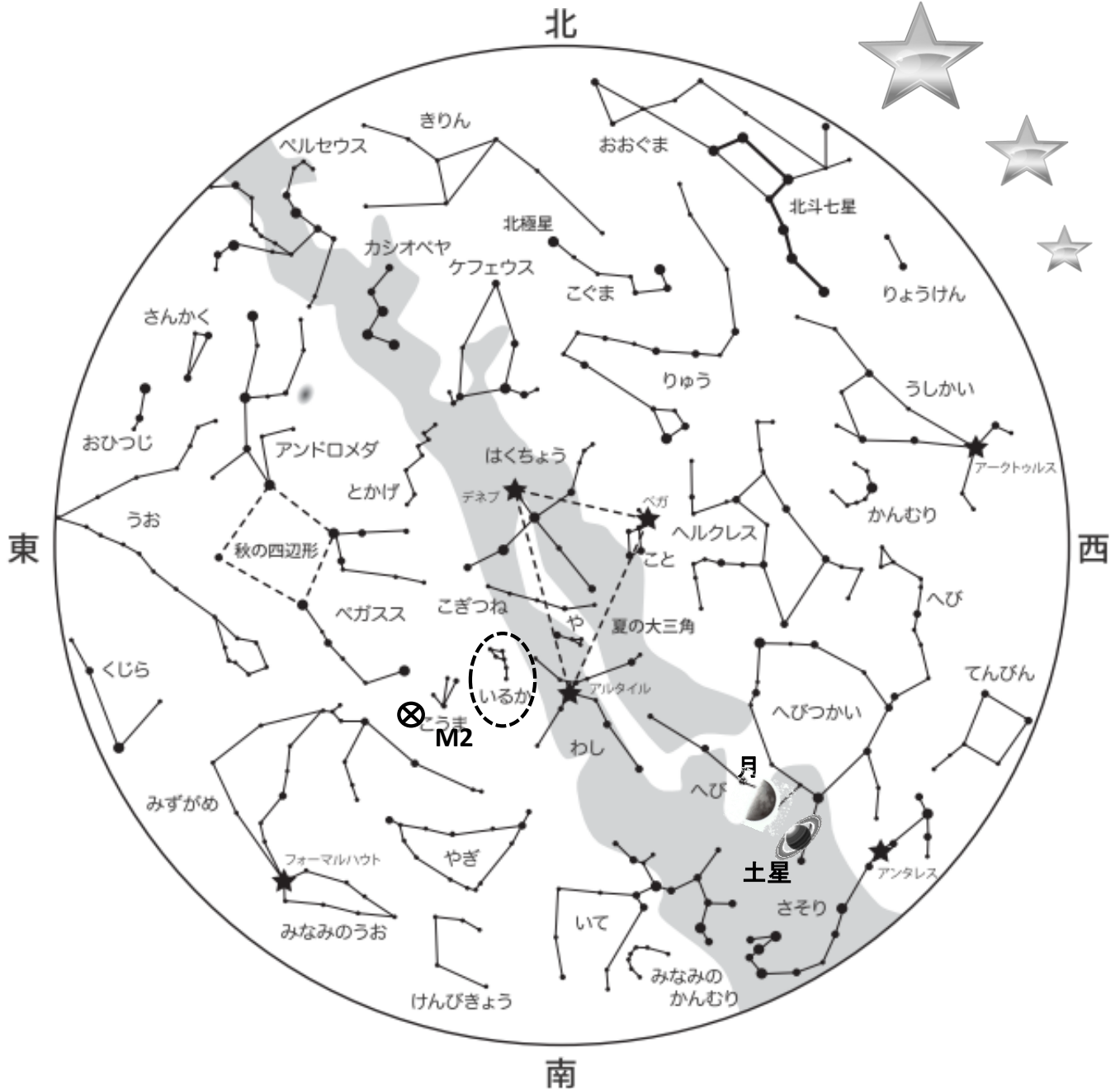


松江市立天文台～9月の天文教室～

平成29年9月27日

9月下旬午後8時頃の星空～



季節は日に日に秋の色合いを帯びてきました。

真上には夏の大三角、東には秋の四辺形が見えています。

南西の空には、オレンジ色に光る土星が見えています。土星は見かけの位置が徐々に太陽に近づくため、来月には観察しづらくなります。

9月下旬午後8時頃の星空です。

月と土星の位置は9月27日現在のものです。

各天体の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

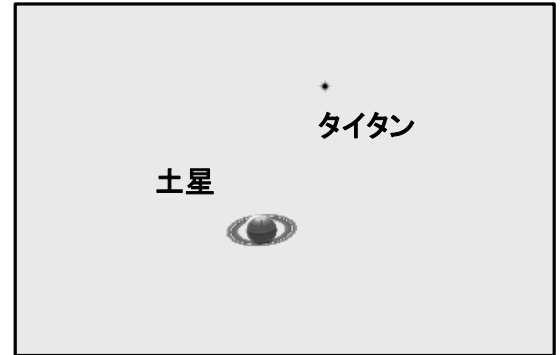
今夜の月

今夜の月は月齢7、ほぼ半月の形です。
月は地球の周りを回る衛星で、私たちに一番身近な天体です。
今年の中秋の名月は10月4日です。中秋の名月をめぐる習慣は、平安時代に中国から伝わったと言われています。

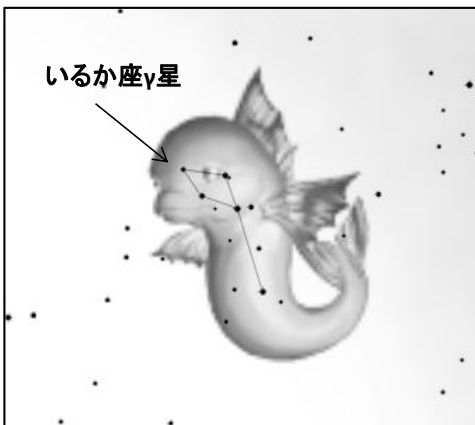


土星

土星は、私たち地球と同じく太陽を中心に回る惑星で、その大きさは、直径約12万キロ(地球の約9.5倍)、美しいリングを持っています。
リングの正体は、数mmから数10cmの水や岩石で、リングの厚さは数百mと言われています。
土星の衛星(えいせい)タイタンも見ることができます。
この夏、南の空で神秘的な姿を見せてくれた土星も、日暮れから間もなく沈むようになり、観察がむづかしくなってきました。

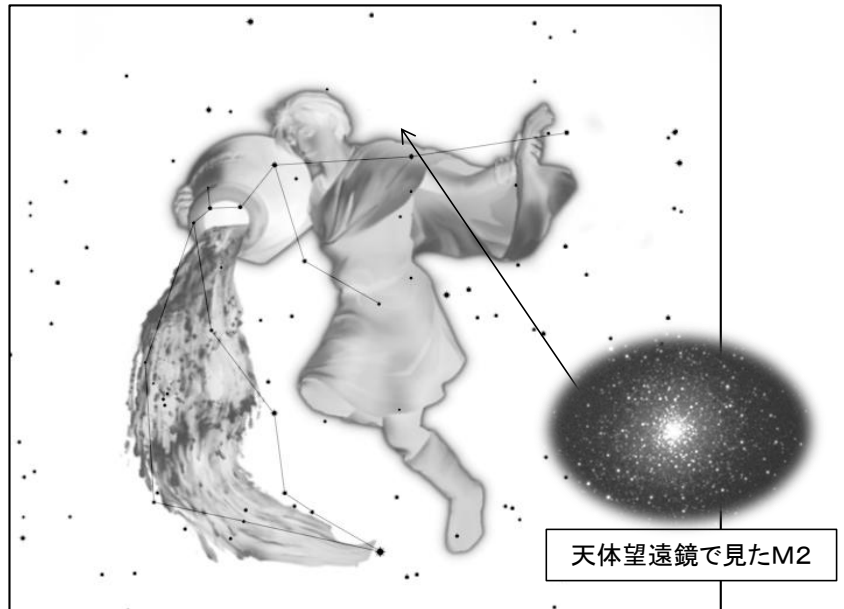


いるか座



いるか座は夏の大きな三角の近くにありますが、明るい星はありませんが、形が小さくまとまっているので、比較的見つけやすい星座です。
この星座のγ(ガンマ)星は、天体望遠鏡で見ると二つの星に分かれて見えます。星の色の対比が美しい二重星です。

みずがめ座



みずがめ座は、星占いにも登場する星座ですが、目立つ星が無いので、街明かりの中では、見つけにくいかもしれません。
M2は、たくさんの星がボールの様に密集している球状星団で、天体望遠鏡では、丸い雲のように見えます。

資料のデータは天文年鑑、アストロアーツから引用しています。
使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。
また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違います。

次回の天文教室

開催日 10月25日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会